



地域おこし協力隊 地域活性化起業人 活動報告会

町内で起業化や新規就農などに挑戦している地域おこし協力隊と、企業に身を置きながらさまざまな町の活性化に携わる地域活性化起業人の活動報告会が2月28日と29日、総合福祉センターで開かれました。

活動報告会では、地域おこし協力隊の33人(教育魅力化支援員3人、起業型10人、福祉支援員1人、協働型12人、農業支援員6人、スポーツ振興支援員1人)、地域活性化起業人3人、事業化を目指す町民1人の総勢37人が、日ごらの活動成果を報告しました。

会場に訪れた町民からは、活動への激励のことがばが寄せられました。

教育魅力化支援員

厚真町教育魅力化プロジェクトを担う協力隊

教育魅力化支援員の3人は、厚真高校での高校生活の魅力化への取り組みを紹介し、厚高生の経験値や視野を広げるために町民との交流機会を増やそうと、学校行事の企画やイベント出店等の活動の様子を報告しました。

起業型地域おこし協力隊

町内で起業をめざす協力隊

町が保管する8mmフィルムを使い町民が参加してマチの歴史を語り継ぐ映像制作、林業の再生や木工製品の加工・販売、アート事業、観光事業など、それぞれの事業の進ちょく状況を発表しました。

協働型地域おこし協力隊

町内の事業者と共に新事業の創出や 自立化をめざす協力隊

ハスカップを活用した食品開発や森を核とした木材の循環事業、木質バイオマス発電へのチップの供給、食肉加工品の商品開発や飲食事業、古民家を活用した飲食・民泊事業などについて報告しました。

福祉支援員

町内の新しい福祉の形づくりに取り組む協力隊

厚真町社会福祉協議会が行っている地域住民との交流事業などについて説明しました。

農業支援員

町内で新規就農をめざす協力隊

ほうれん草やイチゴなどの農作物の生産や植樹への参加、ふるさと納税の返礼品の箱詰め作業などを振り返って新規就農への抱負を語りました。

スポーツ振興支援員

部活動を含めた地域スポーツ振興を担う 民間団体の立ち上げから運営を担う協力隊

総合型地域クラブ創設に向けた取り組みについて紹介しました。

地域活性化起業人

都市部の企業に所属しながら自治体に派遣され 地域の活性化につながる事業を企画・実施する人材

地産地消の促進のための郵便局の活用や移住・就業・起業の機会の創出、人の魅力を通じた厚真ファンづくりについて報告しました。

活動報告会の様子は、町公式ホームページ「地域おこし協力隊」のページで映像でご覧いただけます。

